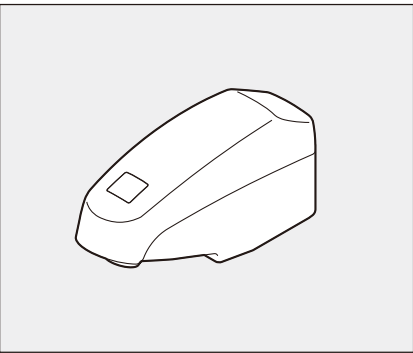


自動横水栓..... EY10DC

自動立水栓..... EY50DC

施工・取扱説明書

施工、ご使用の前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく施工、ご使用ください。



お客様へ
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。
なお、保証書にお買上げ（お取付け）年月日、販売店（工事店）名の記入のない場合はお買上げ（お取付け）の販売店（工事店）に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

工事店様へ
施工後、保証書に貴店名ならびにお取付け年月日をご記入のうえ、本書と共にお客様へお渡しく下さい。

■本製品について

各部の名称	1
寸法図	2

■施工について

施工に関する安全上のご注意	3～4
適切な使用条件	4
施工前のご注意	4
梱包明細	5
施工手順	5～9

■ご使用について

ご使用に関する安全上のご注意	10～11
吐水・止水	12
電池の取替え	12～13
凍結予防	13

■日頃のお手入れ

製品の掃除	13
ストレーナ・吐水口の掃除	14
センサー窓の掃除	15

■定期的な点検

配管周りの水漏れ・器具のガタツキ	15
------------------	----

■こんなときは

故障？ その前に	16
本製品の構造	17

■その他

仕様	17
----	----

■保証とアフターサービス

保証とアフターサービス	18
保証書	19

注意

- インバータや赤外線を用いた他の機器により、誤作動することがあります。センサーどうしが感知し合わないよう、それぞれ離して施工してください。誤作動の原因になります。
- ステンレス製や鏡面の洗面器には取付けしないでください。誤作動の原因になります。
- センサー正面の壁に鏡などの反射物を設置しないでください。誤作動の原因になります。
- 同梱の部品以外は使用しないでください。故障や水漏れの原因になります。

施工について 適切な使用条件

〔水圧について〕

給水圧力	最低必要水圧(流動時)	最高使用水圧(静止時)
	0.03MPa	0.75MPa

●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2～0.3MPa程度に減圧してください。

〔使用温度について〕

使用最高温度
50℃以下

●給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
●給湯に蒸気を使用しないでください。

〔水質・用途について〕

使用可能水質	用途
水道水及び飲用可能な井戸水	一般住宅用

施工について 施工前のご注意

- 給水は、上水道に接続してください。
- 取付け後の保守点検のために必ず止水栓（別売）と点検口を設けてください。
- 止水栓は、ストレーナ付をおすすめします。
- 開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。

本製品について 各部の名称

- 全自動システム…… 赤外線センサーとマイコン制御により、吐水口の下に差し出された手を感知して自動吐水、手を遠ざけると自動止します。
- 市販アルカリ乾電池使用…… 乾電池は市販のアルカリ乾電池（単3×4本）を使用しているので入手が容易です。
- 長寿命…… 1日に100回の使用で、乾電池寿命は約2年間です。（乾電池の特性上、周囲温度が低い場合には、2年以内でも作動しなくなる場合があります。また、同梱されている乾電池は動作確認用です。お早めに新しい乾電池にお取替えください。）

■EY10DC(自動横水栓) ■EY50DC(自動立水栓)

表示窓 カバー

センサー感知窓 吐水口

電源部 回路や電磁弁を動かす電源です。市販のアルカリ乾電池（単3×4本）から成り立っています。

電源部 固定用テブ

ストレーナ

駆動部(電磁弁) 回路からの指示により、水を流したり止めたりします。

赤ランプ 乾電池の消耗を知らせます。（取替時期）

回路 このシステムの頭脳、差し出された手を感知すると駆動部の電磁弁に水を出すよう指示します。

(EY10DCのみ) 流量調節栓 吐水量の調節および止水ができます。

ストレーナ 故障の原因となるゴミなどの侵入を防ぎます。

（止水栓）

●自動立水栓の場合、水勢調節及び製品の点検を容易にするために、別途止水栓をご用意ください。

施工について 梱包明細

●本書〔施工・取扱説明書〔保証書付〕〕×1
●〔使用方法〕ラベル×1

■EY10DC ■EY50DC

ロックナット

本体

座パッキン（本体に貼付済）

パッキン

菊座金

ロックナット

パッキン

スペリパッキン

袋ナット

六角レンチ（対辺3mm）×1 取付ねじ用工具です。なくさないように保管してください。

取付ねじ

アルカリ乾電池

電池ケース

なべ小ねじ

フタ

●通水検査をしていますので水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

施工について 施工手順

■主な工具類

■ナット締付工具： 水栓取付足のロックナットをまわす時に必要です。

■古い水栓を取りはずす際はロックナット対辺を確認してください。

■使用する工具の例

■本製品を取付ける場合 SAN-EI品番：PR351（立水栓取付レンチ） SAN-EI品番：R354（ナット締付工具）

■マイナスイドライバー

止水栓がドライバースの場合に必要な工具（参照：P7）

■スパナ（モンキーレンチ）など： 接続金具のナットや袋ナットがまわせる工具。

■プラスドライバー： 電源部のフタをはずす時に必要です。

■手袋： ケガ防止のために着用してください。

■使い古しのハブラシなど： 取付穴周囲などの掃除ができるもの。

■タオルなど： ケガ防止や水栓保護のために使用します。

■ぞうきんなど： 配管中の残り水を拭くのに使用します。

本製品について 寸法図

●仕様により、寸法が異なる場合があります。

■EY10DC(自動横水栓)

190

64

PJ1/2

80

160

14

55

28

22°

■EY50DC(自動立水栓)

187

64

97

54

135

PJ1/2

ロックナット 対辺24

55

28

22°

EY10DC(自動横水栓)の場合

A 古い水栓の取りはずし ※新設の場合は **B** (P6)に進んでください。

1 元栓を開けて、水を止めます。

●元栓の開め方については、P16：漏水した場合の処置を参照ください。

2 既設の水栓をはずします。

アドバイス 残り水を受けるためぞうきんを用意してください。

B 新しい水栓の取付け

3 配管内の掃除をします。

配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除きます。

注意 配管内にゴミなどが混入すると漏水や水栓の故障の原因となります。特に新設の場合は、ゴミなどが混入しているため、通水して配管内のゴミを洗い流してください。

4 取付ねじにシールテープを巻きます。

ねじに向かって右向きに、5回程度少し引張りながら、ねじにくい込むように巻き、そのまま引きちぎります。

注意 シールテープを逆に巻くと壁の穴に取付けた場合、シールテープがゆるみ、漏水の原因となりますので、図の通りに巻いてください。

アドバイス シールテープをねじ全体に巻く必要はありません。シールテープ幅に合わせて巻付けてください。

5 本体を配管にねじ込みます。

お好みの取付位置でロックナットを締付けてください。

注意 ●本体は絶対に逆方向へゆるめないでください。漏水の原因になります。もしもゆるめてしまった場合は、手順4からやり直してください。●センサー感知窓や本体内部（電源部やコード接続部）が水にぬれたり、汚れ、傷がつかないように注意してください。●あらかじめ洗面器の内部をきれいに拭いてください。誤作動の原因になります。

取付けが完了したら、P9： **C** 乾電池の取付けに進んでください。

施工について 施工に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 施工は、水道法、その他の関係する法規などに従って行ってください。

用語および記号の説明

警告 …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」

注意 …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」

！ …… 「注意しなさい！」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）

○ …… 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

○ …… 「分解してはいけません！」

○ …… 「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」

○ …… 「水や液体をかけたり、漬けてはいけません！」

！ …… 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

警告

製品に水や洗剤、汚水をかけないでください。故障のおそれがあります。

浴室内や屋外など、湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。火災や感電の原因になります。

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。故障や感電の原因になります。

注意

屋外や凍結が予想される地域には、取付けしないでください。凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。凍結のおそれがある場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。

製品に強い力や衝撃を与えないでください。故障や水漏れの原因になります。

給湯温度は50℃より高温で使用しないでください。50℃より高温でご使用になると、やけどをしたり、器具の寿命が短くなり水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

EY50DC(自動立水栓)の場合

A 古い水栓の取りはずし ※新設の場合は **B** (P7)に進んでください。

1 湯・水の止水栓を開めます。

② 止水の確認

カウンター下の止水栓を右にまわして止めます。止水した後、水栓のハンドルを開いて止水の確認をします。

① 止水

② 止水の確認

2 ナットを順番にゆるめて、古い水栓をはずします。

アドバイス 残り水を受けるためぞうきんを用意してください。

注意 ●ねじで手を切る場合があります。ご注意ください。

使用する工具の例 ※古い水栓を取りはずす際はロックナット対辺を確認してください。

① ②

ロックナット

給水管

B 新しい水栓の取付け

3 取付穴周囲のゴミを取り、新しい水栓を取付けます。

注意 ●配管内にゴミなどが混入すると漏水や水栓の故障の原因となります。特に新設の場合は、ゴミなどが混入しているため、通水して配管内のゴミを洗い流してください。●センサー感知窓や本体内部（電源部やコード接続部）が水にぬれたり、汚れ、傷がつかないように注意してください。●あらかじめ洗面器の内部をきれいに拭いてください。誤作動の原因になります。

（1）カウンター穴の寸法の確認を行ってください。

注意 カウンターに厚みがない場合や、取付面が弱い場合は補強材などを設けて本体を確実に固定してください。

厚さ 5～30mm

カウンター穴 φ22～27

(2) 水栓の取付角度の確認を行ってください。

注意
本製品のセンサーが正確に洗面器などを感知できるよう、極端に斜めに向けて取付けないでください。

(3) 本体を締付工具で固定してください。

注意
●カウンター穴中央に施工してください。
座バックンが穴からずれると漏水の原因になります。
●水栓本体に浮きがないよう注意してください。

SAN-EI品番：PR351 (立水栓取付レンチ)
SAN-EI品番：R354 (ナット締付工具)

取付けが完了したら、P9： **C** 乾電池の取付け に進んでください。

ご使用について 吐水・止水

差し出された手を感知すると自動吐水し、遠ざけると自動止水します。

1 感 知		水栓内のセンサーが吐水口下の手を約0.25秒以内で感知します。 ランプが1秒間点灯します。
2 吐 水		手を感知すると、水が出ます。
3 止 水		感知しなくなると約1秒後に自動止水します。

自動 止水機能		約1分後 自動的に止水 約1分間連続感知すると自動的に止水します。
------------	--	---

ご使用について 電池の取替え

乾電池が消耗すると、表示窓の赤ランプが3秒毎に点滅します。

表示窓

赤ランプ点滅 3秒 3秒 3秒

乾電池が消耗すると赤ランプが点滅します。
点滅開始後、約1000回あるいは10日間程度は使用可能ですが、早めに新しい乾電池と替えてください。

センサー感知窓 乾電池(市販)……アルカリ乾電池 (単3×4本)

注意
●センサー感知窓や電源部とコード接続部が水にぬれたり、汚れ、傷つかないように注意してください。
●あらかじめ洗面器の内部をきれいに拭いてください。誤作動の原因になります。

1 元栓または止水栓を閉め、止水します。

■EY10DC(自動横水栓)の場合 → 元栓を閉める

■EY50DC(自動立水栓)の場合 → 止水栓を閉める

2 本体のフタをはずし、電池ケースのフタをはずします。

参照：P9 **C** 乾電池の取付け 手順1

C 乾電池の取付け

1 本体のフタをはずし、電池ケースのフタをはずします。

注意
なべ小ねじ・取付ねじが排水口に落ちないよう、ゴム栓あるいは布などでふさいでください。

2 乾電池ケースの＋－電極をショートしてから、乾電池をはめ込みます。

●ショートの手順：
六角スパナ(付属工具)・ドライバーの先など金属製のもので、背面側の2つの端子を数秒間つなぐ状態にします。

アルカリ乾電池 (単3×4本)

電池ケース

取付ねじ

六角スパナ(付属工具)・ドライバーなど

背面側の端子

ショート

(乾電池のはめ込み直後、作動準備のためランプが2回点灯します。)

お願い
●必ず、アルカリ乾電池をご使用ください。
●乾電池の方向に注意してください。
●新しい乾電池と古い乾電池、または異なる種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
●使い切った乾電池は、早めに出してください。
●充電式の乾電池は使用しないでください。
●乾電池に記載の注意事項をお守りください。

注意
●洗面器に障害物を置いたままで、乾電池を入れないでください。
●センサー感知窓を指などでふさいだ状態で乾電池を入れないでください。赤ランプが点滅したままで、センサーが作動しません。一度、乾電池を抜き、再度ショート作業を行い、乾電池を入ねおしてください。

3 電池ケースのフタを取り付け、本体のフタを取付けます。

注意
赤ランプ点滅中はセンサー感知窓正面に立ったり、障害物が入らないようにしてください。誤作動の原因になります。

4 元栓または止水栓を開いて水漏れをチェックします。
接続後、各部に水漏れがないか必ず確認してください。
水漏れがある場合は、もう一度はじめからやり直してください。

■EY10DC ■EY50DC

3 古い乾電池を取りはずします。

4 乾電池ボックスの＋－電極をショートしてから、新しい乾電池をはめ込みます。

5 電池ケースのフタを取り付け、本体のフタを取付けます。

6 元栓または止水栓を開いて水漏れをチェックします。

参照：P9 **C** 乾電池の取付け 手順2～4

ご使用について 凍結予防

一般用でも凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- 配管部などに保温材を巻いてください。
- 屋内の窓を閉めるなどして水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
- ※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。

日頃のお手入れ 製品の掃除

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなる場合があります。
快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

●柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
●汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

注意
次のものは使用しないでください。変色や傷みのおそれがあります。
●酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
●ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
●クレンザーなどの粒の粗い洗剤
●ナイロンたわしなど

洗剤・薬品が本体に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。
本体の割れや変色変質の原因となります。

ご使用について ご使用に関する安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告 ……「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」

注意 ……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」

⚠ ……「注意しなさい！」(上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。
必ずお読みになり、記載事項を守ってください。)

⚡ ……「してはいけません！」(一般的な禁止記号です。)

🚫 ……「分解してはいけません！」

🚫 ……「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」

🚫 ……「水や液体をかけたり、濡れてはいけません！」

🗨 ……「指示通りにしなさい！」(一般的な行動指示記号です。)

🔌 ……「電源プラグをコンセントから抜きなさい！」

警告

⚠ 小さいお子様だけのご使用は、避けてください。
やけど・けがをするおそれがあります。

⚠ 製品に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や漏水の原因になります。

⚠ 浴室内や屋外など、湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。
火災や感電の原因になります。

⚠ 製品に水や洗剤、汚水をかけないでください。
故障のおそれがあります。

注意

❗ 使い始めの水がにおう場合は、しばらく流してからお使いください。
しばらく使われないと、水栓内の水は消毒用の塩素が少なくなり、におうことがあります。

❗ 分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。
器具が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

日頃のお手入れ ストレーナ・吐水口の掃除

ストレーナ・吐水口の汚れを放置しておくと、十分な機能を発揮できないことがあります。
快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。
(近所で水道工事があったり、長期間使用し湯水の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。)

1 元栓または止水栓を閉め、止水する。

2 カバーをはずす。

3 電源部を手ではずす。

4 ストレーナ・整流器本体をはずす。

5 ハブラシなどで取りはずした部品の網部分を掃除する。

■EY10DC(自動横水栓)の場合

1 元栓

2 取付ねじ

3 電源部

4 ストレーナ

5 掃除

■EY50DC(自動立水栓)の場合

1 止水栓

2 取付ねじ

3 電源部

4 ストレーナ

5 整流器本体

再使用時
ストレーナ・整流器本体が確実に閉まっているか確認してから通水してください。

注意
●センサー感知窓や電源部とコード接続部が水にぬれたり、汚れ、傷つかないように注意してください。
●あらかじめ洗面器の内部をきれいに拭いてください。
●誤作動の原因になります。
●部品が排水口に落ちないよう、ゴム栓あるいは布などでふさいでください。

注意

❗ 給湯温度は最高50℃まででお使いください。
50℃以上でご使用になると器具の寿命が短くなります。
なお、誤操作などによるやけど防止のため、42～50℃給湯をおすすめします。

❗ 凍結が予想される場所でご使用になる場合は、凍結予防を確実に実施してください。
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。参照：P13

❗ 定期的に、配管周りの水漏れや、ガタツキがないか確認してください。
劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

❗ 使用する時は、吐水口をふさがないでください。

❗ 本体をお手入れする際は、次のものは絶対に使用しないでください。
使用してはいけないもの
●酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
●ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
●クレンザーなどの粒の粗い洗剤
●ナイロンたわしなど
本体の割れや変色変質の原因となります。

❗ 洗剤・薬品が本体に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。
本体の割れや変色変質の原因となります。

❗ 感知領域内に障害物が入らないようにしてください。
誤作動の原因になります。

❗ センサー正面の壁に鏡などの反射物を設置しないでください。
誤作動の原因になります。

❗ 解水機やアースを水栓に通電しないでください。
水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

日頃のお手入れ センサー窓の掃除

1 元栓または止水栓を閉め、止水する。

■EY10DC(自動横水栓)の場合 → 元栓を閉める

■EY50DC(自動立水栓)の場合 → 止水栓を閉める

2 水またはぬるま湯に浸した綿布で汚れを拭き取る。
汚れがひどい場合は、綿布にうすめた食器用中性洗剤を含ませて拭き取った後水拭きしてください。

注意
拭き取り時にセンサー面に傷をつけないでください。

【吐水口裏側】

センサー感知窓

綿布

定期的な点検 配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

定期的に、配管周りの水漏れがないか確認してください。(年2回を目安)
定期的に、器具のガタツキがないか確認してください。(年2回を目安)
劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

❗ 確認

❗ 水漏れなし

修理の依頼をされる場合は、「保証とアフターサービス」(P18)を参照してください。

修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。

現象	点検項目	処置
作動しない。	乾電池が入っていますか。	乾電池を入れる。 参照：P12～13
	乾電池の＋が違って入っていませんか。	乾電池を正確に入れる。 参照：P12～13
	電池切れではないですか。	新しい乾電池を入れる。 参照：P12～13
センサーが反応しない。 (正常 乾電池をはめ込んだ 直後、赤ランプが2回 点滅した後、消灯し ます。)	感知距離範囲内に障害物はありませんか。	障害物を取り除き、乾電池を入れ直す。 (設定リセットのため) 参照：P12～13
	センサー感知窓が汚れていませんか。	センサー感知窓を掃除する。 参照：P15
センサーは反応する が漏水が出ない。	感知距離範囲内に障害物はありませんか。	障害物を取り除き、乾電池を入れ直す。 (設定リセットのため) 参照：P12～13
	水圧が使用範囲より高くありませんか。	配管などに減圧弁を設置して水圧を下げる。 参照：P4
湯水の出が悪い。	ストレーナ・整流器にゴミが詰まっていますか。	ストレーナ、吐水口の掃除をする。 参照：P14
湯水が止まらない。	感知距離範囲内に障害物はありませんか。	障害物を取り除き、乾電池を入れ直す。 (設定リセットのため) 参照：P12～13
	センサー感知窓が汚れていませんか。	センサー感知窓を掃除する。 参照：P15
センサーが勝手に反応 する。	センサーの近くに反射物はありませんか。	センサーの近くの反射物などを取り除く。 参照：P4
	直射日光が入っていませんか。	直射日光が入らないようにする。
湯水が勝手に出る。	インバータや赤外線を用いた他の機器を 近くで使用していませんか。	誤作動の原因となる機器を取り除く。 参照：P4
通常より手を近づけな いと反応しなくなる	センサー感知窓が汚れていませんか。	センサー感知窓を掃除する。 参照：P15

以上の点検を実施されても、不具合がなくなるない場合はお手数ですがお買上げの販売店(工事店)に修理をご依頼ください。

漏水した場合の処置

漏水した場合は、止水栓または配管中の元栓を開めてください。

止水栓の開め方

カウンター下止水栓がある場合、ハンドルを回して水を止めてください。

マイナストライバー

元栓の開め方

元栓ボックス(メーターボックス)のふたを開け、元栓を右にまわして開めます。
※元栓を回す前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。
※開栓後は近くの水栓などで配水が止まっていることを確認してください。
※一部の地域では左まわしの場合があります。
※元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。

■ 戸建て住宅などの元栓ボックス：

主に玄関やガレージ付近の地間にあります。
古い戸建て住宅の場合は地間に円形のキー
式ボックスがあったりします。

● キー式

■ マンションなどの中高層住宅の元栓ボックス：

主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の
扉があり、電圧やガスなどのメーターと
共に水道メーターと元栓があります。
お隣と共通のボックス内で元栓の場
所がわからない場合は、水道料金
の検針票などでご自分の水道メーター
番号を確認してください。

● ハンドル式

保証とアフターサービス

【保証について】

- この製品は保証書の内容にしたがって保証されています。
- お買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名が記入してあることを確認してください。
- 保証期間中は保証書の規定にしたがって、修理をさせていただきます。保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。保証期間は保証書を確認してください。
- 保証期間を過ぎていても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

【水栓の定期的な点検・部品交換について】

水栓の性能を維持するために定期的な点検・部品交換が必要です。
摩耗劣化部品は、5年を交換の目安としております。(交換時期は、使用環境などにより異なります。)
点検、部品の交換は工事店や水栓メーカー、専門業者に依頼してください。

定期点検・部品交換

使用年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
お客様による日常のお手入れ・点検												
消費部品の交換												
摩耗劣化部品の交換												
買替え ご検討												

日頃のお手入れについてはP13～15、定期的な点検についてはP15をご確認ください。

- ①消耗部品とは使われて、なくなっていく部品のことです。
消耗部品の例 アルカリ乾電池など
- ②摩耗劣化部品とは、日頃使用する度に磨耗する、または摩耗及び劣化しやすい部品のことです。
摩耗劣化部品の例 電装部品(センサー)・ストレーナ・バックシン・オーリングなど

止水部やバックシンが劣化すると水漏れの原因となります。この場合、該当部品の交換が必要です。
部品の詳細についてはP17を参照してください。

【補修性能部品の供給期間】

この製品の補修性能部品(機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの)の供給期間は製造中後10年です。

【修理の依頼と部品交換の依頼について】

- 修理依頼と部品交換依頼先：お求めの販売店(工事店)又は当社
- ご連絡いただきたい内容：■住所、氏名、電話番号
■品番、品名
■お買上げ(お取付け)年月日
■故障内容、異常の状況(水漏れ箇所の説明など)、部品交換の依頼
■訪問希望日

- 当社の修理および部品交換料金は「技術料」+「部品代」+「出張料」で構成されています。
- 「技術料」……診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。
- 「部品代」……修理および部品交換に使用した部品代。
(無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。)
- 「出張料」……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

【部品のご購入や修理の依頼、ご相談は】

- まずは、お求めの販売店(工事店)へご相談ください。
- ご不明な場合は最寄りの当社営業所へお問合せください。

SAN-EI
株式会社 三栄水栓製作所

本社 〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
お客様相談室 大阪 ☎(06)6976-8661 東京 ☎(03)3683-7496
フリーダイヤル ☎0120-06-9721

東京支店 ☎(03)3683-7471 横浜営業所 ☎(045)929-0331
名古屋支店 ☎(052)804-8688 金沢営業所 ☎(076)268-7751
大阪支店 ☎(06)6972-8981 京都営業所 ☎(075)605-5761
札幌営業所 ☎(011)782-5353 神戸営業所 ☎(078)843-9231
盛岡営業所 ☎(019)605-7301 広島営業所 ☎(082)922-3631
仙台営業所 ☎(022)258-6251 四国営業所 ☎(089)982-5071
新潟営業所 ☎(025)281-1291 福岡営業所 ☎(092)674-1230
さいたま営業所 ☎(048)625-4741 熊本営業所 ☎(096)385-7161
東京西営業所 ☎(042)582-7141 沖縄営業所 ☎(098)869-0890

ホームページ <http://www.san-ei-web.co.jp>

本製品の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくのにご使用ください。

自動立水栓
EY500C

自動横水栓
EY100C

EY500C

一 般 用	
1. カバー	
2. 電池ケースフタ	
3. 電池ケース	
4. 電池ケース	
5. ストレーナキャップ	
6. ストレーナ	
7. 整流器	
8. 座バックシン	
9. バックシン	
10. 銅管金	
11. ロックナット	
12. バックシン	
13. スペリバッキング	
14. 錠ナット	
15. 整流器	
16. オーリング	
17. フチ止め網	
18. カラム網	
19. 整流器本体	
20. 取付ねじ	
21. アルカリ乾電池	

EY100C

22. キャップ	
23. ストレーナ	
24. 固定ビスハンドル	
25. 錠ナット	
26. ロックナット	

仕 様

型 式	EY100C	EY500C
電 源	アルカリ乾電池 単3(LR6) × 4本	
最大感知距離	自動感度調整 約100mm	
検知時間	0.25秒	
連続吐水時間	最大1分(使用者の手を1分以上連続感知した時に自動閉止)	
弁方式	自己保持型電磁弁方式(パイロット方式/バルブ通電開閉)	
給水圧力	0.03MPa ~ 0.75MPa	
使用温度	水温：0～50℃水道水(凍結不可)	
給水部接続	取付ねじ P11/2	
乾電池寿命	100回/日として約2年(アルカリ乾電池使用)	

SAN-EI 水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理させていただきます事をお約束するものです。
保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店(工事店)にご依頼いただき、出張修理に際して本書をご提示ください。
お買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名など記入もれがありますと無効となります。
必ずご確認ください。記入のない場合はお買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、シート又は領収書を貼付してください。
本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

品 番	品番は製品本体に貼っているシールをご確認ください。		店名 住所
保証期間	対象部品	期間(お買上げ日/お取付け日から)	
お買上げ日(お取付け日)	本 体	2カ年	
お客様	お名前	様	
	ご住所		販売店
	電話		工事店

<無料修理規定>

1. 「取扱説明書」(ラベル)などの注意事項に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
2. ご相談、ご購入など本保証書に記入の販売店(工事店)に修理を依頼できない場合は当社にご相談ください。
3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (1) 使用、維持管理上の誤り及び不当な修理、改造による故障及び損傷
 - (2) 湯泉、中水、飲用不可な井戸水による故障及び損傷
 - (3) お買上げ(お取付け)後の取付場所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷
 - (4) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害など、その他の事故及び損傷の原因が製品以外にある場合
 - (5) 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)及び外部ノイズなどに起因する不具合
 - (6) 消耗部品の劣化に伴う故障及び損傷
 - (7) 施工説明書などに基かない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合
 - (8) 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)など製品以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上げ、色あせなどの経年変化又は使用に伴う磨耗などにより生じる外観上の不具合
 - (9) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
 - (10) なすみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
 - (11) 砂やごみ、給水・給湯配管の錆など異物流入及び水あかの固着に起因する不具合
 - (12) 寒冷地仕様品の製品で水抜きをされなかった場合や、寒冷地仕様でない製品の凍結による故障及び損傷
 - (13) 本書の提示がない場合
 - (14) 本書にお買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名の記載がない場合、あるいは字句の書き換えられた場合
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。

★この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましてはお買上げの販売店(工事店)、または当社にお問合せください。
★補修性能部品の保有期間についてご不明の場合は当社お客様相談室へお問合せください。

修理メモ

SAN-EI
株式会社 三栄水栓製作所

本社 〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
お客様相談室 大阪 ☎(06)6976-8661 東京 ☎(03)3683-7496
フリーダイヤル ☎0120-06-9721